

24年度予算の主なものについて、概要と党の立場

■大型事業・公共事業

新規事業名	ページ	概要	党の賛否
● 火葬場建設	14	老朽化した火葬場を平成 年(注)に完成予定で、23年基本計画、24年度は地調査やPFIを進めるための準備	
● 額田支所改築	79	現在の額田支所の耐震が不十分のため、合併時につくった道の駅のディスプレイを移動し、そこへ移動する。現庁舎は倉庫とする。今後総合的な計画をつくる。地元からは、学区市民ホームがほしい。	×、二重の無駄遣い
● 東部給食センター	62	23年度、財政的理由で一年延期されていた建設を実施。27年度完成予定。新たに額田の豊富小学校、額田中学もセンター化。	○
● 芸術文化創造拠点用地購入	67	セルビの跡地を購入して新文化会館の用地を取得。地下のPCBコンデンサーの問題はセルビの負担で、2年間に渡り購入。総額10億。太陽の城を売却するなら、そこに建設をと要求。	
○ 東岡崎周辺整備	45	東口改札口(バリアフリー)を橋の上にする。南側を名鉄のビルと接続する。第一期工事の最終。第一期までは党も賛成。ただし金額が大きすぎる。	
○ 駅南中央公園		岡崎駅南区画整理事業に隣接して土地開発公社が買収した公園用地を市が購入。もともとは産廃業者のあった土地。早期の移転のためと区画整理の負担軽減のために先行取得したもの。	○
○ 翔南中学校 61	61	南中学校のマンモス化解消にむけて、針崎日清紡跡地に建設が始まって来年4月開校。太陽光、など環境に配慮とかなり建設費に要している。学区割り、制服などが保護者の関心事。	○
○ 悠紀の里整備事業	65	中島町の悠紀斉田お田植え行事100周年に皇室を招いて行う。建設の名目をつくるために交流センターの位置づけをつけた。資料館などは党も反対しないが、大きな体育館は必要ない。周辺には多くの公民館がすでにある。	×
○ 区画整理(駅東、駅南、蓑川)	43.4	区画整理事業には多くの負担があるが、それを理由に現在は反対はしていない。蓑川区画整理は、組合施行で、この不況の時期に土地が売れない場合、地権者に負担がさらに増える。駅東区画整理では線路の東西を結ぶ道路の設計不備。	○

○	占部川河川改修	53	東海豪雨、八月末豪雨などの被害解消のために国の5カ年の補助を受けて、占部川(市)、伊賀川、鹿乗川、広田川、砂川(以上県)の改修。相当な工事費だが、豪雨対策として反対はしていない。	○
○	市民病院新棟建設	15	南側にがん治療と50床の病床、ハイブリッド手術室などを設けるもの。駐車場の増設も。このあとに、診療スペースの拡大も計画されている。巨額の費用であるが、がん治療については患者も増える中で党は必要と判断。愛知病院が撤退しないよう、要求するように要望。	
○	子ども科学館(シビック地区整備計画)	44	子ども科学館の名前では計上されていないが、シビック地区(JR岡崎駅東口)の予定地へ、民間が建設して市が店子として入ることも含めて検討の予算。	×
○	阿知和工業団地	36	阿知和町(北部給食センターの北)の山を開いて、県企業庁に工業団地を造ってもらうための下準備予算。工場建設奨励金の対象を製造から流通にひろげるのもその一環。スマートインターチェンジの建設計画は白紙になった。	×
△	高齢者生きがい施設		萬有製薬の跡地に民間が開発をしている一角をすでに土地購入している。高齢者のための施設と言うが清楽荘を廃止するあめ玉かとも思うが、規模もちがうし、用途も未だ明確でない。実施計画から消えた	
△	桑谷山荘の廃止		当初再来年3月の廃止計画を12月に前倒し。暖房費の節約とか。存続の要望は強い。給湯設備、厨房設備などはかなり老朽化しており、新たに8億円の費用がかかることから廃止を決定。党は、せめてレストラン、休憩施設、会議室を残すよう要望。	×

■平成24年度内に完成する建設事業

○	ホテル学校	26	廃校となった鳥川小学校の校舎を利用してホテルの保存、展示をする。廃校のための地元納得のための施設だが、今後、学校教育でどれだけ生かされるか、里山に来る人達を増やすかがカギ。すぐ上流には第二東名の2つのトンネルがあり、すでに水質は低下していると思われる。	
○	東部交流センター	5	道の駅に隣接して、藤川駅と国道一号線の間建設。地元でのワークショップなども行われている。南側から進入できないのが、難点か。	
○	本多邸	66	年間3000万円の維持費。主に人件費。展示などの市民活用はできるが、文化財関連に限られる。湯茶の接待はあるが、博物館として機能で制限は多い。	×
○	道の駅	46,	国が駐車場、トイレをつくり、地域振興施設(農遊館のようなもの)は市の担当。先日、パブリックサービスが管理運営の指定管理業者に決まった。	

○	丸岡新橋	50	丸山町と岡町をむすぶ男川にかかる橋が狭く、一車線だった。長い間の住民要望。党は、南北の橋の出口の交差点の安全対策を求める。また、橋の手前で現状の農道とすりつけるために、低くなっているの、冠水警報が必要と要求。	○
○	東岡崎橋上改札口	12	上記に記載	
○	防災備蓄倉庫全学区	8	今年度で全学区に備蓄倉庫が小学校校庭に完備。今後は、備蓄品の中身の充実や、さらに小学校以外にも備蓄倉庫を広げていくことが必要。	◎

■施策

●	非木造耐震補助	55	マンションの耐震診断はすでに無料で行われているが、耐震工事の補助は初めて。ただし、診断も実施しているマンションは数件。	◎
●	就労サポートセンター	38	生活保護者などが就労できるように新たに市役所にハローワークのパソコンを設置。人員も配置。党は、本来は雇用を増やす努力をすることと要求	◎
●	未利用市有地の売却	74	財政が厳しいと、言ってお金にするものだが、今回は、針崎市営住宅跡地、家畜市場跡地、税務署と太陽の城跡地？を売却。市が「もうけ」をつくりだそうというのは、全国的な傾向	
○	太陽光発電補助	27	西三河でももっとも金額が低い補助を増額するように党は要求してきたが、上限（6万円）はそのままで件数を350件にした。一歩前進か。・	◎
○	工場建設奨励金拡大	36	阿知和工業団地でも記載。今回、5年間の事業所税の免除に加え固定資産税の免除も加える。対象は1000㎡以上の建物に対するもので、大企業優遇施策。県の「産業活性化」と連動	×
○	国保広域化	22	国民健康保険を広域化し、高齢者をその中で別枠にする計画のシステム設計。	×
△	子ども手当	19	子ども手当が「子どものための手当」と改称。金額はかわらないが、所得制限を4人家族で年収約960万円くらいに6月から設定。	
△	自殺予防対策		電話相談などの費用だったが。効果は計れないが、国の補助がなくなった為に廃止するもの。	
△	議員共済		議員の年金が昨年廃止されたために、市の負担分も廃止となった。議員の年金がなくなると、若い人達の将来が保障されない。	

△	公衆浴場事業補助	お年寄りや近所の人達が集まる場所ともなっている銭湯の光熱費補助を廃止。件数が少ないと言う理由。	×
△	スカウト事業	ボーイスカウト、ガールスカウトへの補助金の廃止。影響はまだ不明	
△	私立学校振興費補助金	私立大学、高校への備品、図書費など年額27万円の補助を全額カット	×
△	行政講演会	岡崎市が1月に、さまざまな講師を招き、職員、議員、総代などを対象に行っていた講演会。党は必要なしと考える	
△	老人いこいの家整備補助金		×
△	新生児聴覚検査	公明党が当初要求して2年ほど前から実施。他の検査で代行できるとして廃止	
△	商工団体振興事業補助金	共同駐車場の地代の補助。現在一件が3年の期間で終了となるので、この際廃止。ひかりセンター	
△	奨学金関連	貸し付け奨学金はそのまま残すが、大学生の支給奨学金と入学準備金を廃止。党は、この不況の時に保護者の負担を減らすもので人数の拡大を求めている。	×

■その他

●	新東名サービスエリア水道ポンプ場建築	第二東名のサービスエリアに水道を引くためのポンプ場でネクスコの負担分はあると思われるが、それにとまなう付属的な経費で市の負担になっているものもある。今後調査。	
●	福祉の村子ども発達センター計画策定委員公募	17 ぜひ応募を	◎
●	国民健康保険運営協議会委員公募	ぜひ応募を 長年にわたり党が予算要望書で要求	◎

- 男川浄水場P F I発注 56 水質管理部門だけは市が直営をするが、建設と、機械設備の15年間にわたる上記以外の維持管理を 特定事業者にかかせるもの。げんき館と同様のPFI手法 ×

■特色ある施策

- 葵武将隊 39 これまで国の緊急雇用創出事業で行ってきた9人の武将隊の経費。今後市単独事業とする。
- 美術館共通パスポート 69 美術館、美術博物館、子ども美術博物館の企画展の入場料を年間3千円のパスポートを購入して何度利用しても無料となる。
- 岡崎版エコポイント 28 エコ家電などを購入した時にポイントが付いて抽選で商品がもらえるものだが、効果として期待できるか疑問。